

= Match Report =

令和7年度第19回千葉県高等学校総合体育大会サッカー女子の部

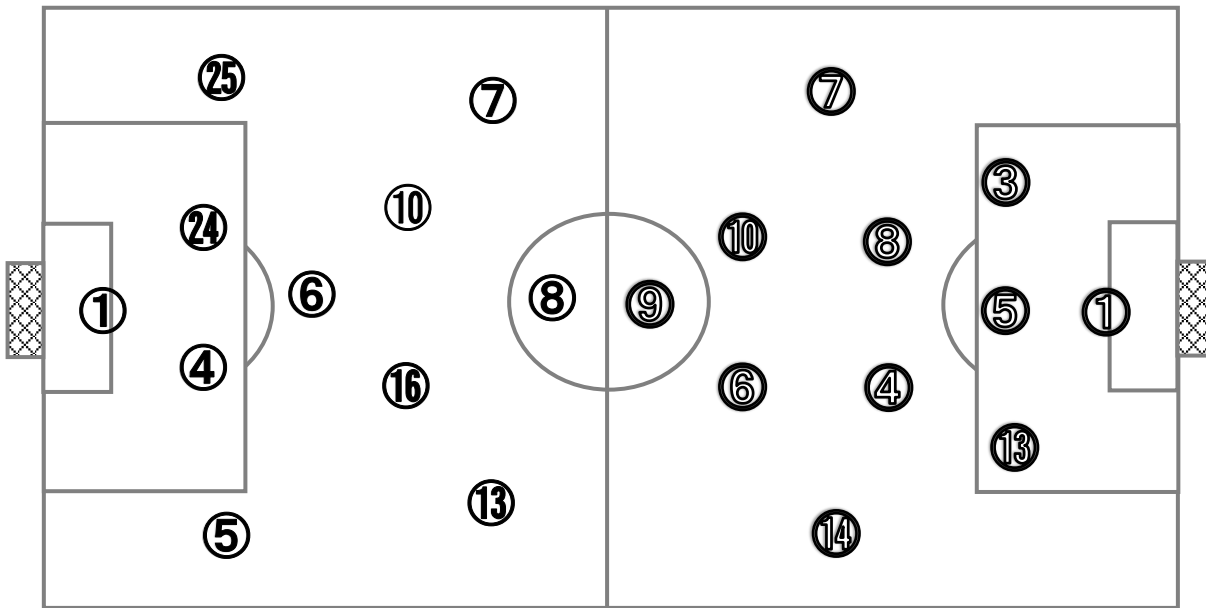
2025 年 5 月 10 日 (土) 14:00 kick off 会場(スポレクパークD面)

マッチNo.【 20 】

八千代松陰 高校(白) vs 市立船橋 高校(青)

1 1 - 1 2
0 - 1
-
-
PK

基本システム 1 - 4 - 3 - 3 基本システム 1 - 3 - 6 - 1



【Match Report】

立ち上がりは風上に立った八千代松陰ペースで試合が進む。相手ディフェンスラインのサイドのスペースを狙ってチャンスを作り、ゴールに迫る。対する市立船橋は時間経過とともにボール支配率を高め、DF⑤蒲を中心とした丁寧なビルドアップでボールを前進させる。中盤の4枚が流動的にポジションを変えてボールホルダーへのサポートを常に行い、FW⑨下坂にボールが入ったタイミングで全体がスピードを上げる。リスタートも速く、17分にスローインを受けたFW⑩篠原が左サイドを突破し、そのままゴールに流し込んだ。しかし失点直後、八千代松陰もサイドで起点になっていたMF⑦白井が幅を取りボールを受け、そのまま中に切り込み見事なミドルシュートを決めた。その後も一進一退の攻防が続き、前半は同点で折り返す。

後半に入ると、八千代松陰はHTでプレスの掛け方をチームで共有し、守備を安定させる。FW⑧瀧田のポストプレーやDF⑤加藤の正確なクロス、CKからチャンスを演出する。ハイレースで奪ってからMF⑩忍足のシュートは僅かに左に逸れるが、ゴールに迫るプレーが多く見られた。対する風上に立った市立船橋も徐々に押し込む展開が増え、ワンタッチでボールを出し入れしながら、タイミングよく裏へ抜け出した選手を使う。51分、中央を突破したMF⑧荒金がキーパーの頭上を越すシュートを決めて勝ち越し。優位に立った市立船橋がそのままゲームをコントロールした。両チームとも連戦の疲労がある中で、最後まで粘り強く戦った好ゲームであった。

記載責任者 所属(千葉県:千葉経済大学附属高等学校) 氏名(小林貴幸)